

# 温暖化防止

# ストリート

街角

道



## 第1号

2003.5.1

気候ネットワークの会員同士のつながりを強め、その環を一層多くの人に広げたいと思い「温暖化防止・ストリート」を発行することにしました。

### 「温暖化防止・ストリート」の由来

このストリート（街角）で温暖化防止について語り、情報や人の環が広がっていくことが、温暖化防止への道（ストリート）につながることを願っています。一緒に歩いてみませんか。

### 気候ネットワーク

～わたしたちはめざします～

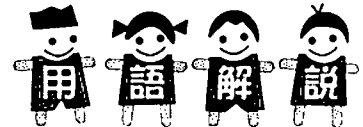
1. 抜本的な国内対策で京都議定書の6%削減を！
2. 環境重視の社会経済システムを！
3. 市民・地域主導で温暖化防止の促進を！
4. 政策決定プロセスに市民の参加と情報公開を！
5. 南北の公平をめざし、南の人々と連携を！

### 目次

- ・用語解説「CDMとは」……………P.1
- ・運営団体紹介「MELON」……………P.2
- ・スタッフの声・こんなことできる…P.3
- ・イベントカレンダー  
本の紹介・ボランティアの声……P.4

よく聞くけど

## 「ん？」何だったかなーっと思う



## 用語：「CDM」

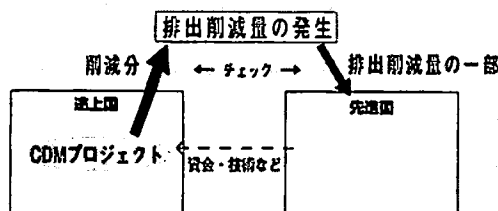
この用語に関する関連記事を気候ネットワーク通信30号の2面に掲載しています。

温暖化対策は自分の国で実施するのが大原則ですが、京都議定書には、他の国と協力して目標を達成する仕組みも盛り込まれています。これが「京都メカニズム」と呼ばれるものです。

京都メカニズムは、下の3つに分けられます。

- (1) 他の国の削減分を買ってくるもの→「排出量取引」
- (2) 先進国と協力して削減プロジェクトを実施するもの→「共同実施 (JI)」
- (3) 途上国と協力して削減プロジェクトを実施するもの→「クリーン開発メカニズム (CDM)」

### クリーン開発メカニズム



途上国と協力して削減プロジェクトを実施するもの→「クリーン開発メカニズム (CDM)」

CDM (Clean Development Mechanism) とは、途上国に資金や技術を提供して削減プロジェクトを実施し、その削減分を自国の削減としてカウントできる仕組みなのです。自国で削減するよりもコストが安くすむことがCDMのメリットです。なおODA (政府開発援助) を流用したり、原子力発電を利用したりすることはできません。

一見有効に見えるCDMですが、使い方によっては取り組みの「抜け穴」になってしまう危険性もあります。そして事実、温暖化防止効果があまりないばかりか、逆に環境を破壊してしまうプロジェクトが案件としてあがってきています。

私たちももっと関心を持つことが必要ですね。

# 各地で活躍する仲間たち

気候ネットワークの団体会員の紹介です。



仙台

今回は、宮城県仙台市にある、「みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)」の紹介です。スタッフの南隆明さんから紹介いただきました。

南隆明さん



## (財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (Miyagi Environmental Life Outreach Network: MELON) とは

MELONは1992年にブラジル・リオデジャネイロで開催された「地球サミット」を機に、緑と水と食とおして環境とくらしを考え、地球環境保全のために地域から活動を起こそうと、市民、協同組合、企業、団体、研究者が力を合わせて設立したNGOです。現在は個人会員(922名)、任意団体(20団体)、法人会員(128団体)の合計1,070会員で構成されています。(2003年3月31日現在)

また宮城県の地球温暖化防止活動推進センターに指定されており、「ストップ温暖化センターみやぎ」という名前でも活動しています。

## 地球温暖化に関する環境教育

昨年から多くなってきているのが、「地球温暖化の何が問題なのか」、「どうして省エネしなくてはいけないのか」などについての講演の依頼です。キーワードとして地球温暖化や、省エネについて知っているものの、そのつながりがよく分からないという声が多く、講演活動を通して、その関係を知ってもらうことが省エネの実践へのきっかけになればと思います。

特に省エネモデル校や、中学校での総合的な学習の時間、市町村役場などでの職員研修、地域の市民グループなど、昨年1年間で、地球温暖化問題や家庭における省エネなどについての講師依頼などは、33件あり、延べ人数では1,655人の方に地球温暖化問題の理解と身近に取り組める省エネ実践について知ってもらうことができました。

## ワットアワーメーターで待機電力カット

ワットアワーメーター(電気製品の待機電力測定器)を15個購入し、家庭での待機電力のチェックのために貸し出しをしています。ある家庭では、この待機電力調べがきっかけで、電気製品のプラグをまめに抜く等の実践により、月12,213円の電気代が7,108円に下がったという驚くべき結果の報告が寄せられました。

## 冬の省エネとアイドリングストップが鍵?

宮城県では冬のエネルギー消費が大きいということが、環境家計簿や省エネナビの調査結果として出ています。冬の省エネルギーをどう進めるかが一つの柱になるのではないかと思います。一つの例として県北部のある家庭では、水道管の破裂を防ぐために電熱による保温をしており、これが電気代、使用量の増加になっているとのことでした。今後、水抜き、コンピューター制御機能のついた保温機などの検討も必要なのではないかと思われます。

また、昨年度、環境省モデル事業の「IT技術利用エコドライブ診断モデル事業」を実施しました。仙台市周辺のモニター32名の参加を得て、自家用車に機械を付けて、1ヶ月間データを取りました。

燃料の消費では空ぶかしや急発進に比べて、アイドリングの割合が大きいという結果でした。仙台地域では渋滞がひどく、公共交通機関の利用促進や利用しやすい整備なども含めて、交通に関して重点的に取り組む必要があると感じています。

## 今後の新たな活動予定

宮城県では、2003年度内を目標に「宮城県地球温暖化対策地域推進計画」を策定しています。

また、昨年度、「宮城県地球温暖化対策地域協議会」および「仙台市地球温暖化対策推進協議会」が設立され、これらの協議会へMELONからも委員として参加しています。今後、これらの協議会を通じた活動が活発になっていくと思われます。

さらに、今年度は新たに委嘱される「地球温暖化防止活動推進員の研修」や、「宮城県における削減案(市民案)の作成」などの企画を検討中です。

NGO運営によるセンターという特徴を活かし、学校教育の現場、家庭、地域における温暖化防止活動をしているグループへの情報提供やアドバイスなどの支援を行っていきたいと思います。また、風力発電やバイオマスエネルギーなどの自然エネルギーに関しても、県内の関係者との情報交換を促進する機会を設けたり調査を行なうなど、県内での可能性を見極めたいと考えています。

その他、地球温暖化問題だけでなく様々な活動を行なっていますので、くわしくはMELONのホームページをご覧ください。

財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (Miyagi Environmental Life Outreach Network : MELON)  
〒981-0933仙台市青葉区柏木1-2-45フォレスト仙台5F  
TEL/022-276-5118 FAX/022-276-5160  
E-mail melon@cir.tohoku.ac.jp URL <http://www.melon.or.jp/melon/>



京都事務局、東京事務局で働いているスタッフからひとこと

東京事務所の平田です。気候ネットワーク設立の年から活動を始めて早5年。地球温暖化に取り付かれ、ひたすら走り続けています（それでも健康と笑い若さ(?)を保っている私はスゴイ!）。東京事務所にもぜひ遊びにきてください!



平田仁子

木原と申します。ボランティアとして関わりはじめ、3年前からスタッフとして働いております。事務局長の寒いジョークに突っ込みを入れる、義務感の強さが私の売りです。COP3が始まった日に20歳の誕生日を迎えた私ももう25歳。もっとレベルアップできるよう頑張ります!



木原浩貴

このニュースを作成しています。アルバイトスタッフの岡です。木原さんと同じく、ボランティアからそのまま居着いて働いています。みんなからは「おかゆ」と呼ばれています。福岡県出身、23歳です。今後ともよろしくお願ひします。



岡優子

会計の田中です。既婚者の子持ちです。以前浅岡先生の所にいたことから、ご縁ができました。田浦事務局長をはじめ若い方々のバイタリティーあふれるエネルギーに押されながら、今日も静かに電卓をたたいています。どうぞよろしくお願ひします。



田中広子

個人的にもエコライフを楽しんでいます。自転車に乗るのが好きなので自家用車は持っていません。自動販売機、缶・ペットボトル飲料はボイコット。「家に全然いない」という声もありますが、電気代は毎月1500円程度です。事務局でのジョークはいつも大うけです。



田浦健朗

今回はスタッフの自己紹介を掲載しましたが、次号からは皆様のご意見・自由なご発言を紹介したいと考えています。みなさまの声を遠慮なくお寄せ下さい。



温暖化防止 ●●

こんなことできる!



家庭での自然エネルギー利用の方法として、太陽光発電が注目を集めています。

太陽光発電パネルは、光から電気を作る「魔法の板」です。太陽の光が当たるところであればどこでも、二酸化炭素も核廃棄物も出すことなく電気をつくりだすことができます。家庭用の3kWのシステムを設置すれば、標準的な家庭の電力消費量の80~90%を賄うことができます。

「太陽光発電は、機器自体を作るときにたくさんのエネルギーを使うから本当に温暖化対策になるのかどうかわからない」という話も聞きますが、作るときに

このコーナーでは、「家庭・個人」・「地域・グループ」のできる効果的な温暖化対策を紹介していきます。

今回のテーマは「太陽光発電」

← 一般家庭の屋根につける「太陽光パネル」。いくらで、どれくらいの電気が作れるのでしょうか?

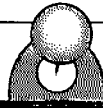
使用したエネルギーは2~3年で回収できます。寿命は20年以上とされていますので、非常に効果的な温暖化対策になるわけです。

気になる価格ですが、近年の普及をうけて安くなってきたとはいえ、まだまだ高価です。NEF(新エネルギー財団)の補助金をもらっても、3kWタイプでは約200万円弱かかります。このタイプの年間の発電量が約3,000kW。これを電気代にすると約7万円ですので、残念ながら、金銭的にはもとをとることはできません。

そんな状況にもかかわらず、日本の太陽光発電の普及率は世界一です。設置者が金銭的に損をしない社会制度が整えば、普及はさらに進むでしょう。

林敏秋(気候ネットワーク運営委員/エコテック関西オフィス)

# イベント紹介



## 5・6月

※ 会場を記載していないものは京都事務所で行います。

### 京都

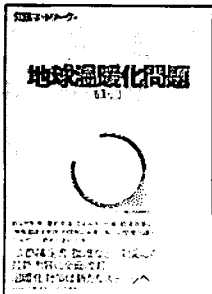
- ・ 5/6 (火) 18:30~ 地域温暖化防止研究会
- ・ 5/9 (金) 18:30~ 自然エネルギー普及研究会
- ・ 5/19 (月) 19:00~ ボランティア説明会
- ・ 5/23 (金) 18:30~ 自然エネルギー普及研究会
- ・ 5/24 (土) 13:30~ ボランティア説明会  
(中京青少年活動センター)
- ・ 6/2 (月) 18:30~ 炭素税勉強会 (ウイングス京都)
- ・ 6/21 (土) 住宅・まちづくりセミナー  
(京エコロジーセンター)
- ・ 6/22 (日) 気候ネットワーク総会  
温暖化対策事例交流会  
(両行事とも、京都テルサ)

### 関東

- ・ 5/10 (土) 14:00~16:00  
環境セミナー「炭素税ってなんだろう?」  
(市川市教育センター)
- ・ 5/15 (木) 18:45~20:45  
気候ネットワーク連続勉強会「これからの温暖化防止政策を考える」  
第2回 自然エネルギー促進と「RPS法」の課題  
(環境パートナーシップオフィス会議室)
- ・ 5/20 (火) 18:30~ 排出量取引研究会  
(東京ウィメンズプラザ)
- ・ 6/27 (金) 18:45~20:45  
気候ネットワーク連続勉強会「これからの温暖化防止政策を考える」  
第3回 地球温暖化を防止する交通政策

お勧めの本の紹介です。

## 本の紹介



(表紙はオレンジ色)

**よくわかる地球温暖化問題<改訂版>**  
2002年12月改訂版発行、1,800円  
(税別)

気候ネットワーク編集の温暖化問題に関する幅広い情報をコンパクトにまとめた便利な本です。用語解説や単位・係数などの説明もあり、多くの方に活用していただける一冊です。一般の書店でお求めいただけます。

次号より、「イベント紹介」では会員のみなさんのイベントを中心に、「本の紹介」では温暖化問題に関するお勧めの本の情報をみなさんから寄せいただいたいただき、紹介していきたいと考えております。

次号は、7月1日の発行を予定しております。6月20日頃までに情報をお寄せ下さい。よろしくお願いたします。

## ボランティアの声



新! ボランティアチーフ (京都) 須藤由香さん

気候ネットワークでは  
たくさんの方のボランティアが  
一緒に活動しています。  
そのボランティアからのコメント!

現在、京都精華大学環境社会学科の2年生です。ボランティアをはじめもうすぐ1年になります。大学では、まだ机上での勉強がほとんどですが、大学で学んだこともボランティア活動に活かしていくことができたいと思います。今回、ボランティアチーフとなり、わからないことも多いですが、事務局のスタッフや他のボランティアのみんなが楽しく、気持ち良く活動できるような環境づくりもしていきたいです。

## 編集後記

今回このニュースを作成したことで、みなさんに気候ネットワークに対して親近感をもつていただくことができたうれしいなあと思っています。今後も、楽しくわかりやすい紙面で情報をお伝えします。これにより会員の皆さん同士のつながりづくりや、各地域での温暖化防止活動の活性化に貢献できれば幸いです。みなさまの声をお聞きしながら作成していきたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願いたします。(おかゆ)



特定活動法人 気候ネットワーク

代表: 浅岡美恵 / 副代表: 須田春海 / 事務局長: 田浦健朗

URL: <http://www.jca.apc.org/kikonet/>

「温暖化防止・ストリート」1号  
2003年5月1日発行 (隔月1日刊)  
編集: OPT: 岡優子

京都事務所 (本部)  
〒604-8124 京都市中京区高倉通四條上る高倉ビル305  
TEL: 075-254-1011 FAX: 075-254-1012  
E-mail: kikonet@jca.apc.org

東京事務所  
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F  
TEL: 03-3263-9210 FAX: 03-3263-9463  
E-mail: kikitoko@jca.apc.org

2003年5月10日発行の雑誌に大塚インクを使用し、風力発電による自然エネルギーで印刷しました。



郵便振替口座: 00940-6-79694 (加入者名: 気候ネットワーク)  
銀行振込口座: 東京三菱銀行 京都支店 普通口座1370852 (気候ネットワーク)